

出張報告書

平成28年2月4日

市議会議長 鳥居宏次 様

会 派 名 刷新クラブ

代表者氏名 京西 且哲

下記のとおり報告します。

記

1 目 的

- ① 大田区：総合型スポーツクラブについて
- ② さいたま市：スポーツコミッションについて

2 出 張 先

- ① 大田区：東京都大田区役所・ヤマトフォーラム
- ② さいたま市：さいたま観光国際協会

3 出張期間 平成28年1月25日(月)～26日(火)

4 出張者氏名 京西且哲・西田武史・金子拓矢

5 てん末報告 別紙とおり

報告書

会派名 刷新クラブ

代表者 京西 且哲

大田区：総合型地域スポーツクラブについて

説明者：須川孝芳（大田区観光・国際都市部スポーツ推進課長）・

牧井正幸（大田区国際都市・多文化共生推進課スポーツ振興係長）・桑田健秀（特定非営利活動法人 地域総合スポーツ倶楽部 ピボットフット理事長）

内容：岸和田市の子どもたちを対象に実施した調査で、運動能力の低下が認められた事と、意識調査で運動が「好き」より「嫌い」と思っている数字が多く見られたため、学校におけるクラブ活動の現状を調査した結果から、子どもたちが自分の好きなスポーツを思いっきりできる環境にないと感じましたので、学校だけでなく地域でスポーツを楽しむ環境づくりに取り組んでいる大田区にて調査を実施しました。

基本の「大田区スポーツ推進計画」（スポーツいきいきプランおおた）は、総合計画に位置付けられる「おおた未来プラン10年」で示された①誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくる。②地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します。をスポーツの面から実現するための施策を推進する計画です。

スポーツを「する」「みる」「支える」の観点から捉え、様々なかかわり方を通じて健康な区民の増加につなげて行きます。

計画の推進に向けて、スポーツ活動に関する全庁的な情報の一元化と共有化を進めるために、平成27年度に担当を教育委員会から市長部局に移し、庁外のスポーツ関係団体や地域団体との連携強化に取り組んでいます。

「大田区スポーツ推進計画」基本理念での重点施策は下記の通りです。

	重点施策	施策の方向
①	生涯スポーツ社会の促進	子どもの体力向上 成人の健康保持 高齢者の健康と体力維持 障がい者のスポーツ推進
②	総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援	地域スポーツクラブの設立・運営支援 地域スポーツクラブ指導者の養成
③	指導者の育成	スポーツ指導者の養成 スポーツ推進委員の活用
④	スポーツ施設の整備充実	大田区総合体育館の運営 区立施設の整備・改修 民間施設との連携協働

総合型地域スポーツクラブの実例として、特定非営利活動法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフットが学校でのスポーツ活動以外を担い、全区民を対象に10種目のスポーツ教室を年間1,871回開催し19,410人が参加しています。

また、委託運営するヤマト運輸(株)の地域貢献スポーツ施設「ヤマトフォーラム」の利用人数約37,000人と併せて約56,000人が、総合型地域スポーツクラブを通じてスポーツに親しんでいることとなります。

他に、イベント開催で約3,700人の参加があります。

大田区と連携している地域スポーツクラブは6団体あり、

それぞれに特徴をもって活発に活動しています。

岸和田市の課題

- ① 担当を教育委員会から市長部局に移すことで活動範囲を広げること。
- ② 地域スポーツクラブの設立・運営の支援を行い、環境を整えること。

さいたま市：スポーツコミッションについて

説明者： 長島光正（事務局長）・矢作光広（スポーツコミッション事業担当副参与）・根岸稔（スポーツコミッション事業担当主査）

内容： さいたま市では、市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの誘致に向け、宿泊・交通の手配など様々な企画・運営の支援を行うとともに、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的にスポーツコミッション団体を組織し、スポーツによる地域経済活性化のエンジン（推進機関）として、スポーツ、経済、観光の関係団体、行政機関などから構成され、公益社団法人さいたま観光国際協会が事務局を担当している。この事業は、現市長である清水市長のマニフェストでもあり、平成23年より観光・交流分野の戦略施策として、さいたま市の特徴の一つである「スポーツの盛んなまち」としての特徴を活かし、国内でまだ本格的な事例の無い組織を先駆けて創設することで、スポーツを通じた新たな観光客の拡大を図り、地域活性化を目指した。さいたま市では、特にサッカーの盛んな街で、J1リーグ2チームが

ある。また、合併により、多様なニーズにもこたえられる程の施設、野球場4施設、体育館2施設、スタジアム3施設、アリーナ1施設があり、施設環境にも恵まれている。ただ、市の悩みとしては、宿泊施設の乏しさが挙げられている。これまでの実績としては、スポーツコミッション設立から3年半で約233.6億円の経済効果を生んでいると強調されていた。

今日では、全国的にスポーツコミッション事業を行う自治体も増えてきているが、先進的に取り組んだ事業に対するどこにも負けないという自信が伺えた。また、施設以外の市内を利用したイベントなどの誘致にも積極的に活動され、担当者の取り組む姿勢にも感銘を受けた。

本市としても、宿泊施設が無い点や、大きな大会が出来るような施設も無いが、工夫と担当者のやる気があれば十分取り組むことが可能であると考えます。